

訪問リハビリテーション連絡会

2023年度 第3回 研修会のご報告



HPはこちら



リハ連くん

皆様こんにちは！訪問リハビリテーション連絡会では、運営理事で話し合い『明日からの実務に役立つ研修会』を企画しています。今回は、2023年度第3回研修会を開催しましたので、以下にご報告させていただきます。

企画：2023年度第3回研修会
日付：2024年1月23日（火）
時間：19:00～20:30
場所：オンライン開催
テーマ：『在宅生活を継続する為の阻害因子』
～家屋調査から気づく視点～
参加者：16名（理学療法士10名・作業療法士6名）

私達訪問のセラピストは訪問に行った際には、利用者・利用者家族の生活空間の中で、その方の抱えている生活課題に向き合わなければなりません。今回は在宅において片付かない乱雑な家で過ごし、退院後廃用が進み、転倒が増えてきているケースに対して、本人の課題・家屋環境の課題をテーマにディスカッションを重ね、家で生活をする利用者をどのように捉え、何を大事に考えながら関わりを深めていくかを話し合いました。

4つのグループそれぞれにおいて、「片付かない事」をどのように捉えるか、転倒の要因は、夜間の動きはどうなんだろう、歩行能力はどうか、本人が現状をどのように捉えているかなど利用者の想いも大事に分析を行った様子がみられました。また転倒後の練習や導線をコンパクトに出来ないか、通所系サービスの活用により活動量を増やせないか、ヘルパー等入った際に一緒に役割を担って運動量を確保、手すりや家具の活用などの解決方法についても多様な意見が聞かれました。

床が見えているから全然綺麗な方といった、様々な住環境をみているセラピストならではの意見もあ

りましたが、在宅での関わりではそこで生活する利用者を知って、個人の生活を大事に関わることが大切という部分が一致出来たようでうれしく感じました。

参加した方々からは、「周りで相談できる人がいないので助かる」「様々な意見を聞くことが出来た」などの感想が聞かれました。研鑽になった事としては「自分がない視点からの意見が聞けた」「職場内で事例について意見を出し合い高めあう事に疎くなっていたため、視野を広がられた」などのご意見が聞かれました。冬季でもあり、オンラインでの開催ではありましたが参加された方にとって有意義な時間になれたのであれば何よりです。

集合写真。意見交換は良いですね



さて、今年度のリハ連の研修会も今回の研修で終了となります。感想文から皆様の次回以降に研修内容として期待することも伺いました。それらのご意見も参考に来年度もリハ連を継続したいと思います。日時が決まりましたらご案内させていただきますので、お声掛けの上、ご参加いただけると幸いです。

今年度のリハ連研修会は終了です。

また来年度会いましょう！

訪問リハビリテーション連絡会は、有志にて平成2001年、札幌市内の訪問リハビリテーションに従事する者同士の情報交換・意見交換を行う場として始まりました。2006年以降、訪問リハビリテーションを実施する事業所の母体が、訪問看護ステーション、介護老人保健施設、病院、診療所へと広がり、現在は、民間企業や自費サービスに従事する方も見られるようになってきています。本会の活動の目的は、『明日の実務に役立つ知識や技術を得る事』と『仲間づくり』です。明るい未来を目指し、皆で情報交換をして楽しく過ごしましょう。